「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

·	支州ボモの足の圧入」派追事来・天地報口目
達 人 名	吉村 友男 先生 (動物園の達人)
実施校	豊橋市立中野小学校
実 施 日	平成21年1月22日(木曜日)
実 施 学 級	3年生(92人)
授業の実際	サルの写真や飼育係の方の仕事の様子の写真、サルのビデオなどを織り交ぜて授業が行われた。 ・講師紹介・自己紹介 ・日本モンキーセンターにいるサルの紹介。日光浴をするワオキツネザルの姿や、たき火にあたるヤクニホンザルなどを紹介。チンパンジーの鳴き声のまねもしてくださった。 ・飼育係の一日の紹介。サルの健康観察の様子や餌作りを紹介。・質問。子どもたちは「サルの1歳は人間の何歳ですか」「一番好きな食べ物は何ですか」「サルは頭がいいんですか」等、興味を持ったことを質問した。
児童の感想	 ・ゴリラがペットボトルのふたを開けて飲み物を飲んでいたのがすごかったです。ゴリラの足が人間の手みたいに物をつかめるなんて知りませんでした。それを見て日本モンキーセンターに行きたくなりました。 ・世界には750種類のサルがいることにびっくりましました。それなのに日本には2種類のサルしかいないことにびっくりしました。 ・ゴリラは50年生きるのに、ニホンザルは20年しか生きられないのが不思議でした。ニホンザルは体が小さいからかなと思いました。 ・吉村さんから聞いたサルの名前と特徴のお話は、私が知らないことがいっぱいありました。飼育係さんの1日も大変だと思いました。とっても楽しいお話でした。
教師の感想	写真やビデオなど、視覚で楽しみながら授業をしてくださったので、子どもた ちが集中できた。 2 度質問タイムがあったが、思った以上に質問が出た。